

平成29年度 第1回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日時 平成29年6月29日（木）13時30分～15時30分
- 場所 弘前地区環境整備センター 管理棟3階会議室
- 出席者 内山会長、高野委員、齋藤委員、堀江委員、太田委員、川越委員、鈴木委員、竹谷委員、戸澤委員、藤田委員、三橋委員、八木橋委員
- 欠席者 安東委員、田澤委員、高木委員、福士委員
（委員16名のうち12名が出席）
- 事務局 柳田都市環境部長、秋元環境管理課長、丸岡環境管理課長補佐、菊地主幹兼廃棄物政策係長、高谷主幹兼資源循環係長、田沢主幹兼環境事業係長、成田（貴）廃棄物政策係主査、成田（一）廃棄物政策係主査、竹谷廃棄物政策係主査、古川環境事業係主事、成田資源循環係主事

○内 容

1 開 会（進行：丸岡環境管理課長補佐）

2 諮 問

「し尿収集運搬（汲み取り）料金の評価」について、都市環境部長から会長に諮問書の提出を行った。

3 会 議（進行：内山会長）

（1）【案件1】し尿収集運搬（汲み取り）料金の評価について

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

意見・質問等

- ・原価計算のところで管理経費とあるが、この額が事務系の人件費だとすると人を雇えないのではないか。
⇒運転手や作業員の作業に要する稼働から計算すると、併任してできるのではないかという計算をしている。
- ・作業員が事務を併任というのは大変なのでそこを少しご理解いただきたい。

（2）【案件2】廃棄物の処分に係る手数料等改定に係る答申案の審議

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

※意見・質問等なし

(3) 【案件3】 家庭系ごみ指定袋制度の導入について

⇒【資料3-1】【資料3-2】について事務局から説明を行った。

※内容に関連性があるため、併せて説明を行った。

意見・質問等

- ・有料化から指定袋制度を導入していくとのことで新聞でもあったが平成32年度まで推移をみて、その時点で有料化が必要かどうか検討しようという内容だったと理解しているが、今の説明では指定袋でも平成32年度の目標を頑張れば達成できるということになっていたのでは、このへんのつながりがどうなっていたのか伺いたい。
 - ⇒有料化検討時は、全国でも最低レベルのごみ量であったが、審議会や色んな施策を実施しているうちに、ごみが減ってしまった。指定袋の導入でも、目標数値に近づける見通しがたった。
- ・実際の指定袋の運用で、指定袋の対象としないごみのところの記載に、「容器包装や古紙類は、これまで同様スーパーの袋で出すか、しばって出すこととなります。」とある。読み取り方によっては、古紙類もレジ袋で出してもいいというように誤解を与えるおそれがあるので修正してほしい。
 - ⇒誤解を与えないような表現に修正する。
- ・指定袋を記入式にした場合、記入しないで出されたごみは置かれてしまうとなったときにどうするのか。
 - ⇒記入の有無にかかわらず基本はごみを持っていく。記入欄の使い方については、可能な限り町会の意向に沿って対応できるようにする。
- ・記入のルールは全市統一したルールにしてほしい。
 - ⇒市内には2つの収集ルールがあり、氏名の義務付けは個人情報保護の観点であるし、かといって町会で氏名を書かせているというのは妨げたくない。市として一例は示すが、強制せず町会の使い方に合わせて使っていただきたい。
- ・袋の金額は同じにしてほしい。
 - ⇒指定袋制度の場合、袋の料金は統一できない。
- ・市は袋の規格や仕様を決めるだけで、製造は業者が行う。会社の掛ける経費によって価格のバラつきが出るのはやむを得ないことである。結果的に袋の価格が安いほうが売れるため、安くなっていくし、売れない袋は高くなっていく。同じ規格でもこの会社の袋を使いたいというのが指定袋である。あくまでもこれは原価で、市のごみ処理手数料など含んでいないため有料化とは言わない。このような仕組みです。袋も4種類ありますが、使いやすい袋が売れていくため、最終的

には淘汰され市民のニーズがある袋だけが製造・販売されていくと思われる。
記入欄は、他地区からの持ち込みなど防ぎたいということからも、欄の設定だけはしたいということだと思うが、使い方は地域の事情に合わせるということなので、さほど負担にはならないと思う。

- ・一点だけ、容器包装ごみも指定袋を使ってもよいとのことであるが、燃やせるごみや燃やせないごみと同じ袋よりも、安く手に入れられる袋で出せる仕組みを構築し、リサイクルを促進することが必要であると考え。

⇒容器包装ごみは、一部の市民が、袋を何種類も買うのが煩雑であり、高い袋でも構わないから指定袋で出してもいいかと聞かれたときに、出してもよいという部分を考慮したものである。現在多くの市民が利用している緑色の推奨袋の記載も追加する必要があるため、今後整理して、市民に示していきたいと考える。

(4) 【案件4】 ごみ減量化・資源化啓発広報誌について

⇒【資料4】について事務局から説明を行った。

意見・質問等

- ・こういうものが配られると皆さんその気になると思う。これを作ることで、毎月広報ひろさきに、ごみの速報値を掲載していると思うが、これは止めるということなのか。

⇒速報値は続けていく。広報ひろさきを見ない方もいるので、ごみに特化した広報誌を、皆さんの目につくように作成したものが本広報誌である。

(5) 【案件5】 その他

⇒【資料5】平成29年度弘前市廃棄物減量等推進審議会のスケジュールについて事務局から説明を行った。

※意見・質問等なし

(6) 総括（進行：内山会長）

- ・次回の審議会は、9月下旬頃を予定している。
- ・【案件1】については、次回、答申案の審議を予定している。
- ・【案件2】については、審議会会長が日を改めて答申書の提出を行う。
- ・【案件3】については、次回も引き続き進捗状況の報告を予定している。

4 閉会（進行：丸岡環境管理課長補佐）

○資 料

- ・し尿収集運搬（汲み取り）料金の評価について（諮問）（写）
- ・【資料1】し尿収集運搬（汲み取り）料金の評価に係る諮問内容説明
- ・【資料2】廃棄物の処分（埋立処分）に係る手数料等改定に係る答申案審議
- ・【資料3-1】ごみ減量化・資源化意見交換会について
- ・【資料3-2】家庭系ごみ指定袋制度の導入について（素案）
- ・【資料4】ごみ減量化・資源化啓発広報誌について
- ・【資料5】平成29年度弘前市廃棄物減量等推進審議会のスケジュール

○公開・非公開の区分 「公開」